

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		交通体系整備事業		課名	リニア推進課	事業No.	33	
				会計	一般会計			
主要区分		主	記号	計画等名称	事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	H10	終了	
根拠	戦略計画		12	リニア時代を支える都市基盤を整備する				
	分野別計画							
	法令・例規等			道路運送法				
				道路交通法				
			地域公共交通活性化再生法					
事業目的		対象	市民					
		意図	市民の地域公共交通利用					

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
		<ul style="list-style-type: none"> 飯田市地域公共交通改善市民会議を2回開催し、バス・乗合タクシーの運行や利用促進について協議し、乗り方教室及び公共交通の日(バス運賃割引)を9日間実施する等、新たなバス利用者の確保に取り組みました。 乗合タクシー山本西部山麓線の本格運行を令和2年4月から開始し、EVバスの実証運行を令和3年1月より市民バス循環線において開始しました。 新たなモビリティ検討チーム勉強会を3回開催し、自動運転とMaasの研究に取り組みました。 交通事業者へのコロナ感染防止対策支援および路線バス利用者の過密対策として増便を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 一般乗合旅客自動車運送事業補助金 126,200 地域公共交通改善市民会議負担金 3,125 南信州広域連合負担金(南信州地域交通問題協議会) 4,050 新たなモビリティの研究 152 地域公共交通改善市民会議委員報酬ほか 282 交通事業者感染症感染防止対策支援事業交付金 44,680 その他の経費 0 								
活動指標	指標名(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	運行支援する市民バス路線数	路線	9	9	9	9	9	9	9	9	
	運行支援する乗合タクシー路線数	路線	14	14	13	13	14	14	14	14	
	地域公共交通改善市民会議開催数	回	2	2	2	3	2	2	2	2	
	実証運行路線数	路線	1	1	0	0	1	1	0	0	
	バスの年間延べ利用者数	人		364,715		368,859		354,394		269,559	
	乗合タクシーの年間延べ利用者数(実証含む)	人		22,110		20,782		19,317		15,193	
2年度決算(千円)	予算額	207,592	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	178,489	(国) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(10/10)								
	財源の状況	国庫支出金	31,535	(地) 過疎対策(充当率100%)							
		県支出金	0	(そ) 地域振興基金利子 12,149千円							
		地方債	36,000	(そ) 交通事業者感染症感染防止対策支援事業町村負担金 14,923千円							
		その他	29,072	(そ) ふるさと寄附金 2,000千円							
一般財源	81,882										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	9	15	1	207,592	178,489	市民バス等運行業務費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数は285,275人で、前年度比23.6%・年間延べ88,244人減少しました。(バス利用者：前年度比23.8%・年間延べ84,312人減少、乗合タクシー利用者：前年度比19.0%・年間延べ3,932人減少)新型コロナウイルス感染症が影響しました。
上記の課題解決のための有効策	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の意見を聞きながら、ダイヤ及び停留所を検討する等して、利用者にとって使いやすい公共交通を提供します。 乗り方教室や公共交通の日(バス運賃割引)実施により、公共交通のPRを行い、新たな利用者の掘り起しを行います。
次年度に向けての取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通改善市民会議及び部会において、利用しやすい公共交通について協議を行います。 リニア時代を見据えた、二次交通の在り方について検討を進めます。 EVバスの実証運行を継続して実施します。